



# 学校教育

☎子ども課学校教育係 ☎0943-32-1194

昨年度の主要施策に対する  
自己評価と学校関係者評価

各学校、①～⑩の10項目を  
3段階（1～3）で自己評価  
し、その評価が妥当であった  
かを外部の学校関係者評価委  
員13人が4段階（1～4）で  
評価しました（図1）。

- ① 確かな学力の向上
- ② 豊かな人間性の育成
- ③ 健康・体力の向上
- ④ いじめ・不登校対応
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 家庭・地域との連携強化
- ⑦ 今日的なニーズへの対応
- ⑧ 教職員の指導力・組織力の向上
- ⑨ 学校教育施設・設備・機器の整備・充実
- ⑩ 子どもの安全の確保

今年度の10の主要施策と評価  
指標

10の主要施策（図2）を掲  
げ、各項目ごとに評価指標を  
定めました。

子どもの個性と能力を伸ば  
し、生きる力を育てる学校教  
育を進めていきます。

図1

学校名	評価名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
上広川小学校	自己評価	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3
	学校関係者評価	4	3.6	3.7	3.8	3.9	3.9	3.7	3.5	3.9	4
中広川小学校	自己評価	2	2	2	2	3	3	3	2	3	2
	学校関係者評価	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.5	3.9	3.8
下広川小学校	自己評価	3	3	2	3	2	3	3	3	3	3
	学校関係者評価	3.7	3.9	3.5	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9
広川中学校	自己評価	2	2	2	3	3	3	2	2	3	3
	学校関係者評価	3.5	3.5	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

図2

### ① 確かな学力の向上

- ・全国、県学力調査で平均正答率を上回る
- ・平日の家庭学習時間が1時間以上の児童生徒の割合が全国平均を上回る

### ② 豊かな人間性の育成

- ・夢や目標を持つ児童生徒の割合が全国平均を上回る
- ・読書好きな児童生徒の割合が児童75%、生徒70%を上回る

### ③ 健康・体力の向上

- ・新体力テストの総合点が全国平均を上回る
- ・朝食摂取率が全国平均を上回る

### ④ いじめ・不登校への対応

- ・いじめの未解決事案をゼロにする
- ・児童生徒の不登校者数が前年度を下回る

### ⑩ 子どもの安全の確保

- ・大規模な自然災害が発生し、大きな被害が出たときの児童の引き渡しに関する「災害時引き渡しルール」の策定を100%達成する

## 学校教育「10の主要施策」と「評価指標」

### ⑤ 特別支援教育の推進

- ・個別の指導、支援計画の作成を100%達成する

### ⑨ 学校教育施設・設備・機器の整備・充実

- ・中広川小学校、広川中学校の校舎内照明をすべてLED化する

### ⑧ 教職員の指導力・学校の組織力の向上

- ・講師を招いた授業を各校複数回行う
- ・月の超過労働時間が45時間を超える教職員をゼロにする

### ⑦ 今日的な教育ニーズへの対応

- ・ICT機器を活用した授業の割合が全国平均を上回る

### ⑥ 学校・家庭・地域の連携強化

- ・教育週間中の地域住民参観数が昨年度の住民の参観数を上回る



### 健康講座

1人で出来る簡単セルフケアをプロから学びます。

日時	場所
6/25 (木) 10:00 ~ 12:00	広川町役場 4階 展望スペース

### 終活講座

人生の「今」と「終わり」をよりよいものにするための事前準備について学びます。

日時	場所
7/23 (木) 10:00 ~ 12:00	町民交流センター 「いこっと」
8/27 (木) 10:00 ~ 12:00	広川町役場 2階 201会議室

### 歴史講座

懐良親王の活躍「南北朝時代の筑後」を学びます。

日時	場所
9/17 (木) 14:00 ~ 16:00	古墳公園資料館
11/19 (木) 9:00 ~ 16:00	大刀洗公園 ・福童の將軍藤

※館外研修のバス代 (500円) と昼食代を持参ください。

すべて要予約・先着各 20 人

申込期間 5/7 (木) ~ 5/21 (木)

※全日程に出席できる講座を申し込みください。

生涯学習課生涯学習係 ☎ 0943-32-0093

## 広川文芸

### ひろかわ俳句会



ランドセル遠き日のまま春の風  
やさしげに母が手を振る春の夢  
春の野や子牛すり寄るつぶらな瞳  
春日さし追ふて狭庭の手入れかな  
半世紀経し会う子らや春深し  
遠山のひかり撒きたる春の水  
下萌や古希の祝いの高良山  
紅茶淹れ琥珀のなかに春溶ける  
春風に雲脱ぎ散らす阿蘇五岳  
かんだかき鳥のさえざり春の朝  
老い桜葉幹にしがみ咲く

### 櫻の会

クリスマスローズに宿る黄の蝶はじつと動かず天に召さるる  
啓蟄にバケツ一杯の草抜けばやさしき日差し土を暖む  
久しぶり菜の花摘みて朋の来ぬ春のひと品春を味はふ  
ふる里の空に溶け合ふ梅の花白く続けり墓への坂道  
朝まだき門川海岸ウォーキング登る朝日に海はきらめく  
働いた六十余年わたしの手ネイルのご褒美ルビーの色に  
お別れだ笑い泣きした仲間とも思い出いつぱい卒業の日  
「旅立ちの日」のイントロに秒速で制服の日へ戻されていた  
母さんへあなたの居ない現し世はやがて櫻の海となります

一瀬砂智子  
中倉 明美  
濱武美智子  
山崎美代子  
細川 徳子  
小西 俊郁  
広瀬 花恵  
丸山 雪乃  
青木佳代子

西村智佳子  
青木佳代子  
原口 正信  
水本 艶子  
渡辺 弘子  
坂田 康治  
一瀬砂智子  
溝田 幸  
原口あつ美  
酒井 司  
結束 節子

# ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

## 広川町にある巨樹・珍樹 その21

### ～櫨の実ちぎりは冬の風物詩～

#### ハゼ（ウルシ科）

ハゼには「櫨」という字が当てられますが、もともとはろうを搾る「埴締」にちなむハジが本来の名称とされ「櫨」の字を当てるのは誤りといえます（『牧野日本植物圖鑑』）。

江戸時代の久留米藩では、殖産事業として盛んに櫨の植栽が奨励されました。その結果、河川の土居や荒地など至る所に櫨畑や並木が見られるようになり、実から搾る木蠟は、換金作物を代表する1つでした。

享保15年（1730年）ごろに、竹野郡亀王村（現久留米市田主丸町）の庄屋、竹下武平が栽培に着手したのが最初です（『農人錦之囊』）。武平は、初代川瀬組大庄屋を務めた竹下次郎兵衛（竹重と改正）の嗣子で、2代目大庄屋となる人物です。

#### 櫨の実ちぎりは冬の風物詩

木枯らしが吹くころになると、櫨の実ちぎり（収穫）が始まります。昔は、頭にてぬぐいをかぶった男性が長い竹

ばしごの先端に上り、次々に実をちぎって落とす様子が見られました。作業が終わった後には、子どもたちが拾いこぼしの実を集め、近所の仲買人の集荷所に持って行き、いくらかの小銭をもらっていただくが思い出されず。

木ろうを搾った後の粕も重宝されており、餅を染める藍は一定の温度を保たないと発酵しないため、冬場の保温にこの木ろう粕が利用されてきました。

ろうも天然ろう（木ろう）から、効率の良い化学製品（パラフィン）へ転換が進み、需要が急激に減退しました。「はぜまけ」といって、新芽が吹くころにはこの木の下を通っただけで皮膚が真っ赤になる



▲ハゼの木（一條地区）

人も少なくありませんでした。需要があるから櫨畑もあったわけで、需要がなくては無用の長物で、身の回りの木は、次々と伐採されていきました。最近では自然回帰の流れから、天然ろうへの再評価の動きも見られ、櫨紅葉といって、その紅葉も見事です。数少ない櫨畑で、今後も維持されることが期待されます。

#### 広川町古墳資料館だより

3月29日(日)に開催された「桜の古代フェス in ひろかわ2026」では、弘化谷古墳の石室一般公開のほか、広川町教育委員会学芸員の尾崎さんとコダイプレスの中村さんによるトークショーが行われまし

た。「学芸員尾崎さんに聞く、実はすごいぞ！ ひろかわの遺跡」と題し、これまで発掘された遺跡について対談。普段聞くことができない貴重な内容に、メモを取りながら熱心に聞く来場者の姿がありました。



▲来場者の質問に答える尾崎さん